



# サービス説明書

## VMware vCloud® Air™

最終更新日：2014年8月21日

© 2014 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品は、米国および国際的な著作権法および知的財産法によって保護されています。本製品は、<http://www.vmware.com/download/patents.html> のリストに表示されている 1 件または複数の特許の対象です。

VMware は、米国および/またはその他の法域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。本書に記載される他のすべての商標および名称は、それぞれの企業の商標です。

本サービス説明書（以下「本サービス説明書」）に定める条件は、VMware vCloud Air（以下「本サービス提供」）に適用されます。「VMware」、「当社は」または「当社に」とは、お客様が米国で本サービス提供を購入する場合は、デラウェア州法人である VMware, Inc. を、お客様が米国以外で本サービス提供を購入する場合は、アイルランド法に基づき設立され存続する会社である VMware International Limited を意味します。

サービス説明書の英語以外の翻訳版は便宜のために提供されており、本サービス説明書は英語版によって規制されます。

VMware, Inc.  
3401 Hillview Ave.  
Palo Alto, CA 94304  
[www.vmware.com](http://www.vmware.com)

## 目次

1.	はじめに .....	4
1.1	サービスポータル .....	4
1.2	追加情報 .....	5
2.	サービス活動 .....	5
2.1	サービスサポート .....	5
2.2	サービスプロビジョニング .....	5
2.3	データ リカバリ .....	6
2.4	監視 .....	6
2.5	インシデントおよび問題管理 .....	7
2.6	変更管理 .....	7
2.7	セキュリティ .....	8
2.8	仮想サーバ展開テンプレート .....	9
2.9	ストレージ .....	9
2.10	移行 .....	10
2.11	VCLLOUD AIR VSPHERE CLIENT プラグイン (オプション) .....	10
2.12	オフラインデータ移行サービス (オプション) .....	10
2.13	データ保護 (オプション) .....	11
2.14	直接接続 (オプション) .....	12
2.15	ディザスタ リカバリ (オプション) .....	13
3.	事業活動 .....	14
3.1	注文及び請求 .....	14
3.2	メーター制の使用 .....	15
3.3	更新 .....	16
3.4	停止及び再使用可能性 .....	17
3.5	契約終了 .....	17
3.6	契約の途中解除 .....	17
付録 A	— 注文及びメーター制使用のコンポーネント .....	18

## 1. はじめに

VMware vCloud® Air™は、VMware が運営する安全なクラウドサービスであり、データセンターをシームレスにクラウドインフラストラクチャに拡張するために VMware と互換性のあるプラットフォームを IT 組織に提供します。

### サービスオプション

vCloud Air は、VMware が運営および管理する IaaS（サービスとしてのインフラストラクチャ）の提供であり、3つのサービスクラスの選択肢があります。

- **専用クラウド** サービスクラスは、シングルテナントプライベートクラウドに、専用コンピューティングサーバ、ワークロード トラフィックのためのレイヤー2 ネットワーク分離、専用ストレージ容量、専用クラウド管理インスタンスを提供します。インフラストラクチャの容量は、お客様の選択により単一仮想データセンターまたは複数データセンターに割り当てることができます。
- **仮想プライベートクラウド** サービスクラスは、マルチテナント仮想プライベートクラウドに、ネットワーク リソースを持つ単一仮想データセンターとして 構成された、共有物理インフラストラクチャ上で論理的に分離されたリソースを提供します。
- **ディザスタリカバリ** サービスクラスは、リモート仮想マシンのレプリケーション、フェイルオーバー、リカバリのためのディザスタ リカバリ仮想データセンター（ディザスタ リカバリ VDC）として構成された、予約マルチテナント仮想プライベートクラウドです。仮想プライベートクラウドと同様に、このサービスクラスは、共有物理インフラストラクチャ上で論理的に分離されたリソースを活用します。

### サービスオブジェクト

各サービスクラスは、これらのオブジェクトにアクセスし、様々な消費および管理モデルに合わせてこれらを管理する能力を含みます。

- すべてのサービスクラスにおける**仮想データセンター（VDC）**は、内部 VDC ネットワークおよびオプションの NAT 経由ネットワークのエッジゲートウェイにより設定されます。
- **仮想マシン（VM）**は、vCloud Air 相互作用のファーストクラス オブジェクトであり、個別に構築し管理することができます。VMware vSphere® vApp™は、vCloud Air Console（以下参照）の仮想マシンと関連付けて見ることができますが、VMware® vCloud Director®のみを通じて構築または管理することができます。
- **ネットワーク**は、エッジゲートウェイ構成および NAT マッピング、ファイアウォール ルール、ネットワーク割り当てのための仮想マシンなどの一般的な使用事例のために vCloud Air Console を通じて管理することができます。VPN 設定、ロードバランシング、ネットワーク構築などの 詳細設定構成および管理は、vCloud Director を通じて行うことができます。

## 1.1 サービスポータル

### セルフサービスポータル

サービスは2つのセルフサービス コンソールを含みます。

- **My VMware Account Management Console（以下「My VMware™」）**は、単一アカウントの下での

すべての VMware 製品ライセンスおよびサポートのサブスクリプション ステータス、統合ナビゲーション、閲覧および管理へのアクセスを提供します。

- **VMware vCloud Air Console (以下「コンソール」)** は、仮想データセンター管理、ネットワークサービスの構成、仮想マシンインスタンス、ライフサイクル管理などの VMware から購入したクラウドリソースのアクセス、消費および管理のためのプライマリ インターフェイスです。より高度な管理タスクのために、コンソールは、同一サインオンの下で vCloud Director への直接のアクセスを提供します。

VMware はまた、VMware vCloud® Connector™を通じたプログラムリソース管理またはワークロード移行のための vCloud® Application Programming Interface (API) へのアクセスを組織管理者に提供します。

## 1.2 追加情報

### 技術文書およびトレーニング

使用例と共にキーコンセプトを概説した文書およびビデオであるキーオブジェクトのための「入門」ガイドおよび「操作手順」ガイドがコンソール、VMware ラーニング、サービスおよびその他のウェブサイトを通じて入手できます。

### 使用条件

vCloud Air の使用は <http://vcloud.vmware.com/legal> に所在する使用条件に従います。

## 2. サービス活動

以下では、vCloud Air を提供する際の VMware の役割および責任を概説しています。特定の役割および責任はまた、お客様が負うものとして識別されていますが、本書に記載されていない役割または責任は、サービスに関して履行されず、またはお客様が責任を負うことはありません。

### 2.1 サービスサポート

VMware は、お客様が報告した問題に関するサポートならびに採用を支援するおよび vCloud Air に関連する選択された追加サービスを提供します。サポートは VMware またはその代理人が施設を維持する国で提供することができます。お客様がサポートに関連するお客様のコンテンツ（使用条件に定義される）を提供する場合、当社は、適用される使用条件に従って当該国でお客様のコンテンツを取り扱います。

### 2.2 サービスプロビジョニング

VMware は、以下のプロビジョニングサービスを提供します。

- 契約したリソースプールをサポートするために必要とされるプラットフォーム コンポーネントの実装（物理サーバ、物理ストレージ、物理ネットワーク デバイス）
- デフォルトのパブリック IP アドレスなどの初期ネットワーク リソースの提供
- 初期リソースプール（メモリ、プロセッシング、プライマリ ストレージ、ネットワークキング）の提供

- デフォルトの管理者特権およびシステム環境設定を使用したコンソールでの初期管理ユーザーアカウントの作成

お客様は、以下のプロビジョニングサービスについて責任を負います。

- vCloud Air Console でのユーザー アカウントの作成および必要に応じたデフォルトのシステム環境設定の変更
- 展開テンプレートおよびウィザードを使用した該当する仮想データセンター、vApp、VM、ネットワークの構築および構成
- 展開された仮想マシンへのカスタムまたはサードパーティ アプリケーションおよびオペレーティング システムのインストールおよび構成
- ディザスタリカバリと併用するための vSphere® Replication™のオンプレミス展開の展開および保守 (vSphere Replication のインストール、vCloud Air へのお客様の現地の vSphere 環境の登録、保護のための仮想マシンの選択、レプリケーション周期に関する目標復旧ポイント (RPO) の割り当てなど)

## 2.3 データ リカバリ

VMware は、データ リカバリに関して以下のサービスを提供します。

- vCloud Air インフラストラクチャのための日常的バックアップなどのデータ保護 (VMware が所有および運営するトップレイヤー管理およびユーザー管理インターフェイスなど)
- vCloud Air インフラストラクチャのためのデータおよびインフラストラクチャ復元 (VMware が所有および運営するトップレイヤー管理およびユーザー管理インターフェイスなど)

お客様は、データ リカバリに関して以下のサービスについて責任を負います。

- vCloud Air 仮想マシンまたはストレージ デバイスにアクセスまたは保存されたデータおよびコンテンツのための日常的なバックアップなどのデータ保護、構成設定等
- お客様の vCloud Air アカウントにアクセスまたは保存された資産に関するデータ、コンテンツ、仮想マシン、構成の復元

## 2.4 監視

VMware は、監視に関して以下のサービスを提供します。

- vCloud Air インフラストラクチャ、インフラストラクチャ ネットワーク、トップレイヤー管理およびユーザー管理インターフェイス、コンピューティング、ストレージ、ネットワークハードウェアの可用性、容量およびパフォーマンスの監視。VMware はまた、コンピュータおよびストレージ リソースの利用および可用性についての仮想データセンターおよび仮想マシン レベルの見解をお客様に提供します。

お客様は、監視に関して以下のサービスについて責任を負います。

- お客様の vCloud Air アカウント内で展開または管理されている資産の監視 (仮想マシン、オペレーティング システム、アプリケーション、特定のネットワーク構成、オペレーティング システムまたはアプリケーションの脆弱性等)

## 2.5 インシデントおよび問題管理

VMware は、以下に関するインシデントおよび問題管理サービス（例えば、検知、重要度分類、記録、上申、サービス再開など）を提供します。

- vCloud Air サーバ、ストレージ、ネットワークデバイスなど、VMware が直接、管理的および/または物理的なアクセスおよび制御を有するインフラストラクチャ
- VMware がサービス提供の際に使用する vCloud Air Console、vCloud Director アプリケーションおよびその他のアプリケーションなど、VMware が直接、管理的なアクセスおよび制御を有するサービス ソフトウェア
- 以下の場合の VMware が提供したオペレーティング システム テンプレート
  - 公表されたテンプレートがサービス カタログからアクセスできない
  - 公表されたテンプレートが変更なしにインスタント化できない
  - 公表されたテンプレートが最初の起動時にエラーを起こす
  - サービスカタログからのテンプレート検索の際に大幅な停止または過剰な遅延が生じる
  - 公表されたテンプレートの構成が仮想マシンとハイパーバイザの相互運用に影響を与える
  - 時刻同期問題（NTP）がある
- 以下などの VMware が提供したツール
  - VMware ツールのインストールおよび構成
  - VMware ツール最適化
  - VMware ツールおよびドライバに関するパフォーマンス チューニング

お客様は、以下に関するインシデントおよび問題管理（例えば、検知、重要度分類、記録、上申、サービス再開など）について責任を負います。

- お客様の組織、仮想データセンター、vApp または組織のネットワーク管理、構成および変更
- 仮想マシン、カスタム開発またはサードパーティ アプリケーション、カスタムまたはユーザー展開オペレーティング システム、ネットワーク構成設定およびユーザー アカウントなど、ユーザーが展開および構成した資産
- オペレーティング システム自体またはそれに含まれる機能もしくはコンポーネントなどのオペレーティング システム管理
- ユーザー展開仮想マシン、カスタムもしくはサードパーティ アプリケーション、お客様のデータベース、お客様がインポートもしくはカスタマイズしたオペレーティング システム、または vCloud Air Console、vCloud Director もしくは vCloud Air プラットフォームとは無関係のお客様が展開および管理するその他の資産のパフォーマンス

## 2.6 変更管理

VMware は、以下の変更管理要素を提供します。

- vCloud Air、コンソール、vCloud Director または vCloud Air プラットフォームの健全性および可用性を維持するための手続きおよび手順



- vCloud Air Console、vCloud Director または vCloud Air プラットフォームに関連する新コードバージョン、ホットフィックスおよびサービスパックをリリースする手続きおよび手順

お客様は以下について責任を負います。

- お客様の仮想マシン、オペレーティング システム、カスタムまたはサードパーティ アプリケーション、データベースの変更の管理およびお客様の制御の範囲内の一般ネットワーク変更の管理
- お客様に付与される最高の許可水準までの VMware および vCloud Air ユーザー コンソールを通じて提供されるセルフサービス機能の管理。仮想マシンおよびネットワーク機能、バックアップ管理、ユーザー構成および役割管理、一般アカウント管理等を含みます。

## 2.7 セキュリティ

vCloud Air のエンド ツー エンド セキュリティは、VMware とお客様との間で共有されます。 VMware は、単独の物理的、論理的および管理レベルの制御を有する側面のサービスに対するセキュリティを提供します。お客様は、管理レベルのアクセスまたは制御を有する側面のサービスについて責任を負います。 VMware とお客様との間の責任の主な領域は以下に概説しています。

VMware は以下を提供するために商業上合理的な努力をします。

- **物理セキュリティ:** VMware は、物理セキュリティ侵害から vCloud Air を収容しているデータセンターを保護します。
- **情報セキュリティ:** VMware は、単独の管理レベルの制御を有する vCloud Air を提供するために使用される情報システムを保護します。
- **ネットワークセキュリティ:** VMware は、お客様がネットワークを変更するために制御、許可またはアクセスを有する時点まで情報システムを含んだネットワークを保護します。
- **セキュリティ監視:** VMware は、単独の管理レベルの制御を有する vCloud Air を提供する際に使用される基盤インフラストラクチャ サーバ、ストレージ、ネットワーク、情報システムに関わるセキュリティイベントを監視します。この責任は、お客様が本サービス提供の側面を変更するために制御、許可またはアクセスを有した時点で停止します。
- **パッチングおよび脆弱性管理:** VMware は、対象システムにとって重大とみなされるパッチの適用など、本サービス提供を行うために使用するシステムを維持します。VMware は、本サービス提供を行うために使用するシステムの重大なリスク領域を浮上させるために日常的な脆弱性検査を実施します。重大な脆弱性は適時に対処されます。

お客様は以下に対応しなければなりません。

- **情報セキュリティ:** お客様は、vCloud Air 上で展開および/またはアクセスする情報システム、データ、コンテンツまたはアプリケーションの十分な保護を確保することに責任を負います。これは、あらゆるレベルのパッチング、セキュリティ フィックス、データ暗号化、アクセス制御、お客様の内部、外部またはサードパーティ ユーザー等に付与された役割および許可等を含みます。
- **ネットワークセキュリティ:** お客様は、管理レベルの制御を有するネットワークのセキュリティについて責任を負います。これは、有効なファイアウォール ルールの維持、事業を営むためのみに必要な通信ポートの開放、無差別アクセスのロックダウン等を含みます。
- **セキュリティ監視:** お客様は、脆弱性検査ツールを通じて浮上した、またはお客様が参加するように求められる、別の VMware セキュリティ プログラムの下でサービスが提供されないコン



プライアンスもしくは認証プログラムのために要求される仮想マシン、オペレーティングシステム、アプリケーション、データまたはコンテンツに関連する、お客様の vCloud Air アカウントにより分離されたすべてのセキュリティ イベントの検知、分類、修復について責任を負います。

## 2.8 仮想サーバ展開テンプレート

VMware は、お客様が専用クラウド サービスクラスおよび仮想プライベート クラウド サービスクラス向けにお客様の vCloud Air 環境で展開することができるサポート仮想サーバ展開テンプレートのカタログを提供します。このテンプレートの展開および使用は、<http://vcloud.vmware.com/legal> に所在するサードパーティ条件に従い、本サービス説明書別表 A に詳しく記載される追加のソフトウェア サブスクリプション料金が課されます。VMware は、これらのテンプレートを提供し、品質をテストし、ウィルスをチェックし、セキュリティ パッチをインストールし、その後 VMware テンプレート カタログに掲載します。VMware はまた、これらのテンプレートを随時、保守し、更新します。お客様は、お客様が使用することを選択した仮想サーバ展開テンプレートの展開および構成、関連ライセンスの有効化ならびに当該ライセンス条件の遵守について責任を負います。

サードパーティ ライセンサーに対する VMware の法的義務を遵守するために、お客様による、<http://vcloud.vmware.com/legal> に所在するサードパーティ条件に定める本サービス提供以外のインストールまたは使用のために特定のテンプレートまたはインストールされた形式の特定のテンプレートのエクスポート、ダウンロードまたは削除は認められません。

お客様は、自身の仮想サーバ展開テンプレートに含まれるソフトウェアを展開および使用する法的権利を有する限り、当該テンプレートを実装またはインポートすることができます。

VMware が提供した、頻繁に使用される、旧式のまたはもはやサポートされていないテンプレートはいつでも削除することができます。

本サービスに基づき提供される仮想データセンターが vCloud Air 以外からの仮想マシンの複製のみに限られるため、仮想サーバ テンプレートがディザスタリカバリ サービスクラスで利用できないことに留意してください。お客様は、レプリケーションによりインポートされた仮想マシン（これらの仮想マシンに関連するサードパーティソフトウェアを含む）が適用される製品利用権およびライセンス契約を遵守するよう保証することに責任を負います。

## 2.9 ストレージ

vCloud Air は、基本サブスクリプションの一部として永続ブロック ストレージを含みます。専用クラウドまたは仮想プライベート クラウド インスタンスに関して利用可能な 2 つのストレージ オプションがあります：ストレージの両方の層はコア SKU およびアドオンの一部として購入することができます。すなわち、標準ストレージおよび SSD アクセラレーテッド ストレージです。ディザスタ リカバリ サブスクリプションは、この 2 つのストレージ オプションを備えていません。2 つのストレージ オプションは、(1) ダウンタイムなしの仮想マシンディスク (VMDK) の増加、および (2) 必要に応じてある層から他の層に移行する柔軟性を可能にします。お客様はまた、必要に応じてワークロードごとにストレージの種類を混合または調和することができます。

お客様の vCloud Air インスタンスに関して階層ストレージ アプローチを採用して、お客様は、パフォーマンス要件に従ってお客様の環境でワークロードを分割することができます。例えば、お客様は、高めのパフォーマンスを要するワークロードに関して SSD アクセラレーテッド ストレージを選択することができ、または低めのパフォーマンスを要する仮想マシン（スワップファイルなど）に関して標準ストレージを選択することができます。お客様はまた、ワークロード要件に最適となるようにストレージの

種類をダイナミックに混合することができます。専用クラウドの基本サブスクリプションは、6TBの標準ストレージまたはSSD アクセラレーテッド ストレージを含み、仮想プライベート クラウドの基本サブスクリプションは、2TBの標準ストレージまたはSSD アクセラレーテッド ストレージを含みます。購入時に、お客様は、どの種類のストレージをvCloud Airのインスタンスに関して含めるべきかを指定することができます。購入時の後、お客様は、My VMware ポータルを介してまたは発注書を提出することにより、同じストレージ オプションまたは他のオプションを購入することができます。すべてのコアコンポーネント サブスクリプションは、本サービス説明書別表 A に詳しく記載されるサービス料金が課されます。

## 2.10 移行

vCloud Connector は、vCloud Air と、データセンターまたはvCloud Air 評価環境などの他の vSphere または vCloud Director 環境との間の VM、vApp およびテンプレートの移行をサポートします。エクスポート、移送およびインポートは、vCloud Connector またはオープン仮想マシン フォーマット (OVF) を使用することができ、オプションのオフラインデータ移行サービスも vCloud Air への移行に利用可能です。これらの移行能力は、vCloud Air への組み込み、サービスからのエクスポート、vCloud Air とお客様のオンプレミス データセンターとの間のテンプレートの同期をサポートします。

vSphere、vCloud Director、vCloud SP、vCloud Air 間の VM、vApp およびテンプレートの基本的なネットワーク ベースのコピー作業に加えて、vCloud Connector も、以下の使用事例をサポートします。

- お客様のプライベート vSphere および vCloud Director 環境から単一のレイヤー2 ネットワークを vCloud Air に拡張し、同じ IP および MAC アドレスを保持しながら、お客様が VM または vApp を vCloud Air に移行できるようにします。これにより、プライベート vSphere または vCloud Director 環境でこれらの VM または vApp が 他の VM または vApp と通信できます。
- お客様の vCloud Air カタログとプライベート vSphere フォルダまたは vCloud Director カタログを同期し、お客様のプライベート vSphere または vCloud Director および vCloud Air のすべての認証ユーザーが同じテンプレートを使用できるようにします。

## 2.11 vCloud Air vSphere Client プラグイン (オプション)

vCloud Air vSphere Client プラグインは、なじみのある vSphere Web Client User Interface を vCloud Air に拡張します。vSphere Client 内からの vCloud Air プラグインにより、お客様は以下を行うことができます。

- vCloud Air に関する専用クラウドおよび仮想プライベートクラウドインスタンスの閲覧および管理
- 各クラウド インスタンスの閲覧、作成、変更、仮想データセンター、ゲートウェイ、ネットワークのインベントリの管理
- カタログテンプレートを使用した仮想マシンの展開、既存の VM の変更
- vCloud Air コンソールを介してお客様のアカウントに対して行われた変更に関する自動更新の受信

## 2.12 オフラインデータ移行サービス (オプション)

オフラインデータ移行 (以下「ODT」) は、お客様の現地のプライベート vSphere または vCloud Director 環境から vCloud Air サービス環境への多数の VM、vApp またはテンプレートの移行を目的とす

るオプションのデータ移行サービスです。ODTはMy VMwareポータルを通じて調達することができ、お客様はサービスを起動するためにvCloud Connectorを使用します。

本サービスの一環として、VMwareは以下を行います。

- 物理ストレージ デバイスをお客様に発送し、お客様がVM、vAppまたはテンプレートをそのデバイスにロードし、選好する運送業者を使用してそれをVMwareに返送することを認めます。お客様がデバイスにロードしたコンテンツは、vCloud Connectorにより暗号化されます。解読キーは、vCloud Air環境のvCloud Connectorインフラストラクチャで保管され、これにより、移行中のお客様のコンテンツのセキュリティを確保します。
- デバイスからお客様の本サービス提供インスタンスへのデータの移行。

お客様は、以下について責任を負います。

- VMwareが提供するストレージ デバイスに付随する指示文書に従うこと。
- VMwareの発送日から45暦日以内にストレージ デバイスをVMwareに返送すること。ストレージ デバイスが45日以内に返送されなかった場合、お客様は、ストレージ デバイスの交換料金に加えて、各々がVMwareにより課される発送諸経費をVMwareに支払います。
- サービスにより伝送されたデータ、アプリケーションまたは仮想マシンのバックアップ。VMwareは、お客様の本サービスの利用の結果として発生するデータ損失については責任を負いません。

このオプションのサービスは、本サービス説明書別表Aに詳しく記載される追加料金が課されます。

## 2.13 データ保護（オプション）

データ保護は、安全な画像ベースのバックアップおよびリカバリ能力を提供するオプションのサービスであり、お客様は、お客様のvCloud Air環境で提供される重要な仮想マシン データおよびコンテンツを保護することができます。vCloud Air Consoleで利用可能なデータ保護管理インターフェイスを通じて、vAppおよびその仮想マシン メンバーを方針ベースのバックアップおよびリカバリ作業のために選択することができます。

データ保護機能のサブスクリプションおよび有効化は、My VMware<sup>™</sup>を介して要請することができ、バックアップデータ容量に基づき追加サービス料金が課されます。サービスのバックアップ データ容量は、フロントエンド テラバイト (FETB) で測定され、本サービス説明書別表Aに詳しく記載されています。有効化された場合、vAppおよびその仮想マシン メンバーは、vCloud Air Consoleを通じてセルフサービスに基づきデータ保護機能に登録または登録解除することができます。

本サービスの一環として、VMwareは以下を行います。

- データ保護機能をサポートするために必要とされるセントラル サービス コンポーネントの実装および保守（バックアップ ソフトウェア アプライアンス、バックアップおよびアーカイバル記憶媒体および関連ネットワーク トポロジ）。
- データ保護環境のための業界ベストプラクティスに適合した日常的な構成、保守および最適化サービスの実施。
- サブスクリプション契約時に行われた容量選択に基づく必要なバックアップ ストレージの割り当て。
- すべてのバックアップ データについての地理的地域ごとのストレージの局所性の保証。
- 要請される必要なデータ保護サービス報告の提供。

お客様は、以下について責任を負います。

- My VMware™を介してアドオン機能としてのデータ保護の購入およびお客様の要件に見合ったバックアップ ストレージ容量の選択。
- カスタム バックアップ保護方針の作成（VDC ごとのアフィニティ設定、スケジューリング、保存期間などを含む）。
- データ保護を使用した予定バックアップのための vApp およびその仮想マシン メンバーの登録および登録解除。
- vApp およびその仮想マシン メンバーごとのオンデマンド バックアップの実施。
- vApp および/または個別仮想マシンごとの適当または不適当な復元の実施。
- 探求中のリカバリタスクの管理（オペレーティングシステム、ファイルシステムおよび/またはアプリケーション レベルでの復元作業など）。
- バックアップストレージ容量および消費量の管理（アクティビティレポート、My VMware™を介した追加ストレージ容量の注文、空き容量を確保するためのインベントリのバックアップデータの削除などを含む）。

## 2.14 直接接続（オプション）

直接接続は、リモート顧客データセンターおよび vCloud Air と同じ施設のデータセンターを vCloud Air の顧客インスタンスに接続するのを援助するオプションの専用ネットワークリンクです。直接接続は、お客様が、公認 VMware 直接接続パートナーが提供する高生産性で低遅延の接続を活用することを可能にします。専用接続回路は、vCloud Air 直接接続サービス（VMware が提供する）ならびに顧客サイトから vCloud Air エントリー ポイントへのネットワーク接続およびサービス（VMware の直接接続パートナーが提供する）で構成されます。

直接接続に加入するために、お客様は、My VMware ポータルを介してまたは発注書を公認直接接続パートナーに提出することにより、お客様の既存の vCloud Air インスタンスのために 10 Gbps または 1 Gbps のポートスピード接続を購入することができます。VMware に対するお客様の直接接続サブスクリプションはポート接続サービスのみを含み、直接接続パートナーが課す別個のネットワーク接続料金があります。

直接接続パートナーはネットワーク サービスを提供し、別個の料金、サービス条件および契約条件を課します。これらの別個の料金および条件については、お客様と VMware の関係の範囲外で、直接接続パートナーと直接対応しなければなりません。

本サービスの一環として、VMware は以下を行います。

- お客様が契約した回路または接続を連結することができる vCloud Air への 10 Gbps または 1 Gbps の接続の提供。
- 接続の vCloud Air 側のプロビジョニング、管理およびサポート。
- お客様の vCloud Air インスタンスから vCloud Air の直接接続パートナーの通信アクセスポイントへの回路プロビジョニングおよび接続の成功を確保するためにお客様が選択した直接接続プロバイダとの協調。

お客様は、以下について責任を負います。

- すべてのプライベート ネットワーク サービス接続のための公認 vCloud Air 直接接続パートナーとの契約締結。

- vCloud Air 直接接続パートナーのすべての適用される条件の遵守。
- プロビジョニング完了に要求される vCloud AirSupport へのすべての適用されるネットワーク サービス プロバイダ回路情報の提供。

VMware は、接続の直接接続パートナー側に発生したネットワーク接続停止については責任を負いません。

## 2.15 ディザスタ リカバリ (オプション)

ディザスタ リカバリは、オプションの1つとしてプライベート vSphere 環境でホストである自社業務用の VM を保護するサービス型リカバリ (RaaS) ソリューションです。ディザスタ リカバリは、それらの作業負荷を vCloud Air に複製し、ディザスタまたは破壊的な出来事が起きた場合にクラウド内で自力でのフェイルオーバーを稼働させ、リカバリを可能にします。

ディザスタ リカバリ サービスは自社業務用のソフトウェア コンポーネント及びクラウド予備能力コンポーネント双方で構成され、自社業務用ソフトウェア コンポーネントは、vSphere レプリケーションであり、クラウド予備能力コンポーネントはディザスタ リカバリ-VDC インスタンスです。

vSphere レプリケーションは、VMware 占有のレプリケーション エンジンでハイパーバイザ レベルで動作し、個別の仮想マシン及びその関連の仮想マシン ディスク (VMDK) の保護を可能とします。お客様が vSphere レプリケーションをご使用になる場合、vSphere レプリケーションのエンド ユーザー ライセンス契約の条件を遵守していただきます。

ディザスタ リカバリ-VDC インスタンスは、vCloud Air の仮想化されたリカバリ目標で、帯域幅、コンピュータ処理、ネットワーク及びストレージのすべてリソースが予め構成されて混合され、それらは、ディザスタ リカバリ サービスで専ら利用するテスト、フェイルオーバー及びリカバリ操作のために確保されます。このリソースの確保は、サービス利用について下記の制限を受けます。

- 連続 7 暦日を超えるテスト フェイルオーバーのリース ランタイムには、1 日当たりの使用料金 (DUF) が発生します。
- 連続 30 暦日を超えるライブ フェイルオーバー及びリカバリのリース ランタイムには、1 日当たりの使用料金 (DUF) が発生します。
- テスト フェイルオーバーは、テスト クレジットを追加購入していない場合、12 か月間 (各「月」は月次請求日に始まる) に最高 2 回までに制限されます。

ディザスタ リカバリ サービスは、専用クラウド及び仮想プライベート クラウドに利用できる類似の加入申込みの登録方法を用いてコア コンポーネントとして注文できます。ディザスタ リカバリ独自の追加のサービス業務は、最初の購入時に追加すること、および My VMware™ を介して加入期間中のいつでも追加することが可能です。ディザスタ リカバリの サービス申込みのコンポーネントは、追加サービス料金の対象とされ、本サービス記述の付録 A に説明されています。

本サービスの一部として、VMware は、以下のことを行います。

- 加入申込時に選択した容量及びディザスタが宣言されるまで、買い求めた追加容量に基づいてテスト、フェイルオーバー及びリカバリ操作の予備力に安全なリモートアクセスを提供すること。
- ディザスタ リカバリ サービス環境のために、業界最高レベルの慣行に従いルーチン構成、維持管理及び最適化サービスを実施すること。
- ディザスタ リカバリ サービスの求めにより vSphere レプリケーションの機器ソフトウェアのバージョン管理。
- テストまたはフェイルオーバーのサービス要求を呼び出すお客様に応じて複製仮想 マシンの適時のリカバリを徹底すること。

お客様は、以下について責任を負います。



- ディザスタ リカバリのコア加入に申込み、お客様の要望に合った予備力量を決めること。
- ディザスタ リカバリ サービスの機能を支える必要に応じてお客様の業務用の vSphere 環境内に vSphere レプリケーションの機器ソフトウェアを配置すること。
- お客様のローカル vSphere 環境をお客様指定の vCloud Air のディザスタ リカバリ-VDC インスタンスに登録すること。
- 適切なネットワーク接続性の種類及び帯域幅をお客様の業務環境と vCloud Air との間で確実に得られるようにし、お客様のレプリケーション要望に応えられるようにすること。
- ディザスタ リカバリ サービス時に保護のため仮想マシンを構成し、仮想マシンごとにそれぞれの目標リカバリ ポイントを確定すること。
- ディザスタ リカバリ サービスの一環としてテスト、フェイルオーバー、リカバリ及びフェールバック操作を可能とするため、カスタム ランブック手順を開発すること。
- ディザスタ リカバリの範囲を超えたリカバリ タスク及び主要サービスの境界として仮想 マシンのリカバリを実装し、実行すること。
- 可変フェイルオーバー負荷を処理できるよう、お客様のディザスタ リカバリ-VDC インスタンスに、十分な予備キャパシティを確保すること。

### 3. 事業活動

本項では VMware vCloud Air の注文、スケーリング、更新、中断及び終了の各プロセスについて要約します。

#### 3.1 注文及び請求

##### 注文

- 初注文には、コアのコンピュータ処理、サポート、ストレージ、IP アドレス及びシングル サービス インスタンスのインターネット帯域幅コンポーネント（「サービス識別子」または SID）が含まれ、これらについては付録 A にさらに詳しく記載されています。初購入によりデフォルトの請求関係が定められ、契約期間中のその SID の全ての取引に適用されます。例えば、初注文が VMware 公認のリセラーを介して行われた場合、デフォルトで、そのサービス識別子に関するその後の支払はそのリセラーを介して行われます。この請求関係は更新時に変更できます。
- 追加容量は、初注文時または初注文後いつでも購入できます。
- データ保護などの追加サービスは、初注文と共に、または My VMware ポータルを介してサブスクリプション期間中いつでも購入できます。その追加サービスには追加の条件及び料金が適用されます。
- 容量に関しては、契約期間末までであればいつでも容量またはサービスの追加を注文することによりアカウントの変更ができます。SID に付随した VMware 公認リセラーを変更する場合、以下のように更新時に VMware に連絡して行うことができます。
- サービスは、更新時に VMware との調整により減少することができ、その減少後のサービス提供の容量に応じて新たに注文をすることが必要となります。ただし、お客様の減少後のサービス提供の注文に付随する容量がお客様のその時点の作業に必要なとされる容量に満たない場合、

VMware は、お客様がその超過容量を解除し、VMware が再請求するまで、超過容量についてその時点のレートでお客様に請求します。

## 請求

- お客様が直接 VMware からサービス提供を購入される場合、VMware は、各請求期間が始まってから 30 営業日以内に注文された全サービスについて請求します。お客様が VMware 公認 リセラーを介してサービス提供を購入される場合、リセラーは、お客様とそのリセラーの間で交わした相互合意に基づき、お客様に請求します。
- プラン料金は、付録 A に定められているように、その時点の請求期間に応じて VMware により請求されます。ただし、お客様が前払サービス提供の SKU を選ばれた場合は例外とし、注文されたサブスクリプション期間について請求されます。サービス提供が請求期間全体について提供されない場合、当該期間の料金は、(a) サービス提供が最初に提供された日から請求期間末まで、または (b) 請求期間の開始から請求期間内のサービス提供の最終日まで、それぞれに応じて比例配分されます。
- 利用料金は、付録 A に定められているように、利用された請求期間後の次の請求日に VMware により請求されます。お客様の SID が請求日の 5 日以内に設定された場合、お客様は、利用料金の最初の請求書を SID 設定後の第 2 請求日まで受け取らないこととなります。

## 3.2 メーター制の使用

- 帯域幅やサードパーティーライセンスなどのメーター制使用コンポーネントは、サービス期間中を通じていつもサブスクリプションレベルを超過して消費することができます。お客様は、そのメーター制使用のコンポーネントに対して、サービス提供を直接 VMware から購入した場合、VMware が公表するその時点のレートで支払うか、またはサービス提供を VMware 公認リセラーを介して購入した場合、そのリセラーと合意したレートで支払わなくてはなりません。この料金は、VMware により利用料金として請求されます。メーター制使用コンポーネントのリストは付録 A に提供されています。
- 上記のアドオン能力及びサービスは、新規あるいは拡張された要求に合わせていつでも購入できます。
  - アドオン機能は、My VMware ポータルを介してか注文を通じて追加することができます。
  - アドオン機能またはサービスの期間は、SID のコアサブスクリプション期間と同じ時期に終了するように設定されます。
  - アドオン機能がお客様にさらに容量の階層を上げさせる場合、SID の残りの期間にユニットごとの価格引下げが月次請求に対して適用されます。前払サブスクリプションの場合、容量の階層が上がることによるユニットごとの価格引下げの払戻しはありません。ユニットごとの価格引下げは、容量の階層が上がった後で追加された月次及び前払サブスクリプションの双方に適用されます。
- デザスタ リカバリのメーター制使用並びにアドオン機能及びサービスに対する除外には以下が含まれます。
  - ワン タイム コンピュータ処理能力 (30 日) は、最初のサブスクリプション申込時に指定したフェイルオーバー容量の本来の総量を超える短期フェイルオーバー容量の要求を満たす目的で購入することができます。
  - ワン タイム コンピュータ処理能力アドオン (30 日) を購入し、基本のコアサブスクリプションの有効期限がコンピュータ処理アドオンの 30 日の期間末までに切れた場合、



コンピュータ処理アドオンは、コアサブスクリプションが更新されない限り、コアサブスクリプションの終了と同時にその有効期限は終了します。

- ワン タイム コンピュータ処理能力は、サブスクリプション期間を通してライブ フェイルオーバー及びリカバリ操作を支える必要があるときに購入することができます。
- ワン タイム コンピュータ処理能力の使用資格は、30 日の有効期限が終了するまで有効で存続し、コア能力に付随するランタイム リースとは無関係です。コア能力は、実際のテスト フェイルオーバーまたはライブ フェイルオーバー及びリカバリ現象時に適用されます。

### 3.3 更新

VMwareは、サブスクリプション期間終了に際し、SIDを更新しない権利を留保します。VMwareが更新しない場合、当社は、お客様にサブスクリプション期限の終了の30日前に通知します。各SIDの更新オプションは、My VMwareの管理ポータルを使用して選択できます。更新オプションには以下のものが含まれます。

#### 自動更新（デフォルト設定）

本第3.3条の規定を除き、各SIDは、現在の構成及び現行の発注期間を使用して自動的に更新します。その時点のSKU及び価格は、適用価格表に基づいて、その更新期間に適用されます。お客様は、<http://my.vmware.com> のMy VMwareのポータル内でSIDの更新オプションの設定を変更することにより自動更新を中止することができます。My VMwareポータルを介したお客様の更新オプション設定変更のための最終期日に関しては下記の表をご覧ください。

サブスクリプション期間	更新オプションを変更するための最終期日
3か月以内	現在のSIDサブスクリプション期間の最終日から5日前
3か月超	現在のSIDサブスクリプション期間の最終日から30日前

**期間末にサブスクリプション サービスの変更** このオプションが選択されると、お客様は、SID期間が終わる前に通知を受け、お客様の更新オプションについて話し合います。お客様は、My VMwareのポータル内（<http://my.vmware.com>）でSIDの設定を変更し、新たに発注書を発行することにより、サービス提供の構成を変更でき、また、該当する場合、お客様のリセラー関係を変更することもできます。お客様が下記の最終期日までに現在のSIDを変更しない、及び／または新規のサービス提供の発注書を新たにVMwareまたは該当する場合お客様のVMware 公認リセラーに発行しない場合、お客様の現行のSIDは、現在の構成のまま、VMwareまたはお客様の既存のリセラーと自動更新を行います。お客様がサービス提供をVMware 公認リセラーを通じて購入した場合、手動による更新が、お客様がその特定のSIDのリセラー関係を選べる唯一の方法となります。 My VMwareのポータルを介してお客様の更新オプション設定を変更するための最終期日に関しては、下記の表をご覧ください、新発注書をお送りください。

サブスクリプション期間	更新オプションを変更するための最終期日
3か月以内	現在のSIDサブスクリプション期間の最終日から5日前
3か月超	現在のSIDサブスクリプション期間の最終日から30日前

期間の終わりにおける終了

お客様は、My VMwareのポータル内（<http://my.vmware.com>）でSIDの設定を変更することにより、現行のSID更新を終了することができます。このオプションが設定されると、サービス提供へのお客様のアクセスはSID期間の終わりに終了します。My VMwareのポータルを介して終了オプションを選択するための最終期日に関しては、下記の表をご覧ください。

サブスクリプション期間	My VMwareを介して終了オプションを選択するための最終期日
3か月以内	現在のSIDサブスクリプション期間の最終日から5日前
3か月超	現在のSIDサブスクリプション期間の最終日から30日前

### 3.4 停止及び再使用可能性

- 支払遅延またはサービス条件に定めるその他の理由により SID が VMware によって**停止**されている間、VMware はすべての SID へのアクセスを制限し、SID のパブリック IP アドレス上のすべてのトラフィックを遮断します。VMware は、問題が解決されるまで、またはサービスが終了するか解除されるまで、SID を構成及びデータをそのまま保持します。
- SID の再使用可能性**は、停止に及んだアカウントの問題が解決次第直ちに開始され、サービス提供へのアクセス及び IP アドレス上のトラフィックが復旧されます。

### 3.5 契約終了

- 契約の終了、解除、取消しまたはその他の理由による **SID の完全な終了**は、結果として当該環境へのアクセスの永久喪失、アカウント サービスの中断並びに VMware 社内のデータ保存方針に従い、当該環境、構成及びデータの削除をもたらします。
- 終了した SID からの**データ**は、VMware が当該 SID の契約終了後も保有することができます。ただし、VMware は、SID の契約終了後 30 日間は、当該データを削除しません。
- 契約の終了、解除、取消しまたはその他の理由によりテスト前及び／またはフェイルオーバーランタイム リースが完全に満了となる前に終了した、ディザスタ リカバリ SID に関しては、サブスクリプションの終了は、テストまたはフェイルオーバー操作の残余のランタイム リースの即座の没収という結果になります。

### 3.6 契約の途中解除

- vCloud Air の当初期間が 12 か月以上の月次払いのサブスクリプションは途中解除の対象となります。前払サブスクリプションは対象とはなりません。アドオンは、月次払いの基本サブスクリプションが終了する場合のみで対象となります。その終了は、サブスクリプション期間の最初の 3 か月が過ぎ、VMware に事前の通知をしてからのみ有効となります。お客様は、有効な終了日現在、お客様の残っているサブスクリプション期間について 12 か月の期間ごと（またはその一部）にサブスクリプション料金の 1 か月に相当する料金（アドオン料金も含む）も支払わなければなりません。例：

有効な終了日現在、残余サブスクリプション期間（月）	途中解除手数料総額
12か月未満	契約サブスクリプション料金の1か月に相当する料金（アドオン料金も含む）
12か月から24か月未満	契約サブスクリプション料金の2か月に相当する料金（アドオ

	ン料金も含む)
24か月から36か月未満	契約サブスクリプション料金の3か月に相当する料金 (アドオン料金も含む)

- お客様が終了を希望する SID に必要な通知をする場合、My VMware ポータル (<http://my.vmware.com>) のサポート レクエストに記入し、VMware Global Support and Services チームに連絡してください。
- お客様は 30 日から 60 日前に事前通知をしなければなりません。終了 (お客様の SID の最終有効日) は、お客様の次回サブスクリプション請求期間の最終日に有効となります。
  - 例えば、お客様のサブスクリプション請求期間が毎月 15 日に終了する場合 (お客様の請求日と違う可能性もありますので、ご注意ください)、5 月 15 日まで有効の SID を終了するためのお客様の当社への通知は 4 月 15 日までとなり、4 月 16 日に通知されると、SID は 6 月 15 日に終了されます。

**注意:** ディザスタ リカバリの月次払いのサブスクリプションは、上記の契約の途中解除オプションの対象です。途中解除に関連する料金は、**以下の場合**、放棄されます。

- (1) お客様がディザスタ リカバリ サービス サブスクリプションを取り消す場合、同請求期間にお客様がサービスの種類をディザスタ リカバリから専用クラウドまたは仮想プライベート クラウドのいずれかにアップグレードする場合、及び、(2) お客様の本来のディザスタ リカバリのサブスクリプション期間と同等またはそれ以上のサブスクリプション期間に、専用クラウドまたは仮想プライベート クラウドのいずれかのサービス サブスクリプションも新規に購入する場合。

## 付録 A — 注文及びメーター制使用のコンポーネント

サービス記述の本付録 A では、当初またはその後の注文を通じて顧客が購入する可能性のあるコンポーネント及び利用実態に基づいて請求されるコンポーネントについて要約します。

### 定義:

「帯域幅」とは、VMware のインターネット サービス プロバイダを使用し、お客様の vCloud Air から公共のインターネットをつなぐネットワーク接続性をいいます。帯域幅は、以下に定義するように増量しながら注文されます。

「請求日」とは、VMware が当該サービス提供について定期的に請求する日をいいます。請求日は、別途の表示がなければ、月次に発生します。

「請求期間」とは、サービス提供が請求されている期間をいいます。請求期間は、別途の指示がなければ、月次でお客様の SID のサービスの提供方法に関連します。

「バースト帯域幅」とは、お客様のコア コンポーネントで購入した帯域幅を超えてお客様が消耗した帯域幅の総量をいいます。

「コンピュータ処理」とは、お客様の購入されたサービスの種類を通じて割当てが実現された仮想過程及び仮想メモリ リソースをいいます。コンピュータ処理は、以下に定義するように、増量しながら注文されます。

「コア コンポーネント」とは、コンピュータ処理、ストレージ、帯域幅、IP アドレス及びサポートをいいます。

「弾性コンピュータ処理」とは、お客様が請求期間中に利用した、確保されていない仮想過程及び仮想メモリ リソースをいいます。

「IP アドレス」は、公共のインターネットに接続性を供給するために用いられ、帯域幅は、データがお客様が購入されたサービスの種類で転送されたり、受領されたりする場合に消耗されます。

「メーター制使用のコンポーネント」とは、契約したプラン料金を超える使用量を含め、利用実態に基づいて請求される、それらのサービス提供の要素です。メーター制使用のコンポーネントは、バースト帯域幅及びサードパーティのライセンスです。

「オフライン データ トランスファー（「ODT」）とは、データ移行サービスを意味し、このサービスでは、物理的ストレージ装置をお客様に発送し、多数の VM、vApps またはテンプレートを、お客様のローカル VMware vSphere または VMware vCloud Director 環境からお客様の vCloud Air Cloud 環境に移行する目的で、後程 VMware に返送していただきます。

「プラン料金」とは、使用量に基づいて請求されない（つまり、お客様が購入を約束し、使用の如何にかかわらず、サブスクリプション期間中繰り返されるコンポーネント）、それらのサービス提供のコンポーネントです。この料金は本サービス記述の第 3.1 条の定めに従い、その時点の請求期間について請求されます。

「ストレージ」とは、お客様の購入のサービスの種類によってお客様の使用可能となるブロック レベルストレージを意味します。ストレージは、以下に定義するように増量しながら注文されます。

「サブスクリプション ソフトウェア」とは、お客様に提供され、その使用について請求されるすべてのソフトウェアをいいます。

「サポート」とは、本サービス記述の第 2.2 条及び第 2.7 条の定めに従い、VMware が届けるサービスをいいます。

「サードパーティ ライセンス」とは、サードパーティ ソフトウェアのライセンスを意味し、それらのライセンスは、サービス オプション（いずれもサービス カタログ他を介して）としてお客様に利用可能なものです。

「使用料金」とは、使用量に基づいて請求されるサービス提供のコンポーネントをいいます。この料金は、本サービス記述の第 3.1 条の定めに従い、後払いで請求されます。

「フェイルオーバー テスト」とは、ディザスタ リカバリ サービスの一環としてフェイルオーバー及びリカバリの模擬訓練を実行する行為をいい、テスト ワークフローに 1 つ以上の仮想 マシンが含まれる場合はいつも適用されます。

「1 日当たりの使用料金」とは、ディザスタ リカバリ サービスに基づいて、許可されたランタイム リースよりも長い期間、フェイルオーバーし、リカバリされた仮想マシンを操作するに付随する臨時費用をいいます。

「ランタイム リース」とは、ディザスタ リカバリ サービスの一環として、仮想マシンの操作可能期間に適用される時間総数（日数で計られる）をいいます。

## コア コンポーネントの注文

コア コンポーネントは、特定のサブスクリプション期間（例、12、24、または 36 か月の期間）に対して注文を受けます。コンポーネントごとに請求され、月単位に支払われますが、前払サービス提供を注

文される場合、一括払の請求及び支払となります。

### 専用クラウド

専用クラウド インスタンスでは、下記品目の各々から最低 1 品目を、最初の購入時及び特定の増量をする際に注文しなければなりません。

- コンピュータ処理: 30Ghz vCPU 及び 120GB of vRAM
- ストレージ: 6TB
  - 標準ストレージまたは SSD 加速のストレージ
- 帯域幅: 50Mbps
- IP アドレス: 3 パブリック IP アドレス
- サポート: 年中無休のプロダクション サポート

### 仮想プライベート クラウド

仮想プライベート クラウド インスタンスでは、下記品目の各々から最低 1 品目を、最初の購入時及び特定の増量をする際に注文しなければなりません。

- コンピュータ処理: 5Ghz vCPU 及び 20GB of vRAM
- ストレージ: 2TB
  - 標準ストレージまたは SSD 加速ストレージ
- 帯域幅: 10Mbps
- IP アドレス: 2 パブリック IP アドレス
- サポート: 年中無休のプロダクション サポート

### ディザスタ リカバリ

ディザスタ リカバリ-VDC では、下記品目の各々から最低 1 品目を、最初の購入時及び特定の増量をする際に注文しなければなりません。

- コンピュータ処理: 10Ghz vCPU 及び 20GB of vRAM
- ストレージ: 1TB
- 帯域幅: 10Mbps
- IP アドレス: 2 パブリック IP アドレス
- サポート: 年中無休のプロダクション サポート
- フェイルオーバー テスト: 年 2 回

### メーター制使用のコンポーネント

これらのコンポーネントの消費量は、以下に述べる間隔及び増量で計られます。これらのコンポーネントには使用料金が適用され、本サービス記述の第 3 条の定めに従い、VMware より請求されます。

これらのコンポーネントの価格は、お客様の注文経路に応じて異なります。以下の「手数料及び料金」をご覧ください。

- バースト帯域幅
  - 消費間隔: 請求期間
  - 増量: 1Mbps ごと
- サードパーティーライセンス
  - Microsoft SPLA Subscription Software
    - 消費間隔: 暦月またはその一部
    - 増量: CPU ごと
- データ保護ストレージ容量
  - 消費間隔: 請求期間
  - 増量: 保護データのフロントエンド テラバイト (FETB) ごと
- ディザスタ リカバリのコンピュータ処理能力の 1 日当たりの使用料金
  - 消費間隔: 暦月またはその一部
  - 増量: 確保された CPU 及びメモリ容量がオンライン上にあり、割当てのランタイム リース期間にわたり使用されている日数ごと
- ディザスタ リカバリのためのフェイルオーバー テスト クレジット
  - 消費間隔: 12 か月の期間 (月次請求日を各請求期間の開始として計算)
  - 増量: フェイルオーバー テストを行うごと
  - 制限: フェイルオーバー テストの追加クレジットは、コア ディザスタ リカバリのサブスクリプションと同じ 12 か月の期間内に使用されなくてはなりません。12 か月後はディザスタ リカバリ SID に関連するすべてのテストは、(サブスクリプション期間の長さに応じて) 満了となります/リセットされます。

## ワン タイムコンポーネント

以下に記載のワン タイムコンポーネントを注文することができます。これらのコンポーネントは、それぞれがサービス記述にさらに詳しく記載されています。

- オフライン データ トランスファー: 11TB までの単一の物理的データ移行
- これらのコンポーネントの価格は、お客様の注文経路に応じて異なります。以下の「手数料及び料金」をご覧ください。

## 手数料及び料金

お客様が直接 VMware に注文される場合、VMware は、その時点で適用される VMware の価格リストに記載の料金、または発注書に記載の別途料金を、VMware との合意に基づいてお客様に請求します。お客様が VMware 公認リセラーに注文する場合、当該リセラーが、その価格リストまたは別途のお客様との合意に基づいて請求します。

現在の SID にサービスまたは容量を追加する注文は、その SID が予約された方法に基づいて VMware またはリセラーから発注され、SID サブスクリプション期間の終了まで、共通の条件に従います。特に、リ



セラーが既にお客様に SID について請求をしている場合、かかる追加のサービスまたは容量についてはそのリセラー を通じて発注され、お客様が支払を同意した価格及び他の当該条件は、そのリセラーとの合意に基づきます。